

斜里町立図書館運営推進計画(平成31年度～令和5年度)に対する事業評価(令和元年度) 集約後

総合計画 単位施策	項目	評価時期		備考	第1次計画 計画期間 目標・評価	H29年度末		H30年度末		NO	項目	第2次計画 計画期間 目標・評価	R1年度進行状況(R1.9末)		今後の取り組み (R1年度)	点検・評価	課題・意見
		毎年	計画 期間末			数値等	内容	数値等	内容				数値等	内容			
町民と築く魅力的な施設 づくりの推進	図書館利用の 拡大 (利用人数)	○	○	総合計画 評価項目	年間42000人以上	38,224人	図書館来館者数	38,011人	図書館来館者数	1	図書館利用の 拡大 (利用人数)	年間42000人以上	19,702人	図書館来館者数	継続実施	平成30年度は前年度より△0.6%△2百人の減となった。 令和元年度は9月末現在で162日間開館し、来館者数は約1万9千人であり、前年同期より△1.0%△2百人の減となっている。 28年度より続いて減少傾向となっているが、平成29年度からほぼ同一水準で推移している。この間、図書館に来館してもらえるよう子どもの読書週間や夏休み等子ども向けのイベントなど、本に関わるイベントを中心に開催している。また、SNSを活用した広報活動も迅速に対応され、来館者の充実に努めた。	来館者数は減少傾向にあるが、その動きは極めて緩やかとなり、入館者の動きは落ち着いた感がある。しかしながら今後も継続的な要因の分析は必須であり、図書館へいった事がない方の来館をいかに促すか、また、良く利用されている方の満足度をさらに充実させていく等、個別具体的な活動を進めていくこと、今後とも図書館に親しみ身近に感じてもらえるような活動を継続して実施していく事が必要。
	図書館利用の 拡大 (貸出冊数/町民1人)	○	○	総合計画 評価項目	年間10冊以上	8.9冊	町民1人当りの貸出冊数 103,538冊/11,672人	9.1冊	町民1人当りの貸出冊数 105,121冊/11,515人	2	図書館利用の 拡大 (貸出冊数/町民1人)	年間10冊以上	4.41冊	町民1人当りの貸出冊数 51,014冊/11,571人	〃	平成30年度は、貸出冊数約10万5千冊(1千5百増)、町民1人当たり貸出冊数9.1冊(0.3冊増)となった。また、旧図書館(H24・25年度平均)との比較約では貸出冊数で約1.2倍、町民1当たりで1.7冊の増となった。 令和元年度は9月末現在で、貸出冊数約5万1千冊であり、前年同期より約△2百冊、町民1人当たり△0.11冊の減となっている。 一定の水準を保つも27年度を頂点に28年度より減少傾向となっていることから、来館者を増やす取り組みと合わせ、各種展示の工夫やSNSを活用した広報活動を実施し、図書の貸出に繋がるよう努めた。	貸出冊数は減少傾向にあることから、要因の分析を行い、今後とも時事的な工夫も含め各企画展示を実施するなど図書館に親しみ身近に感じてもらえるような活動を継続し、図書案内などを充実していく事が必要。
	町民ボランティアとの協働(団体活動回数)	○	○	総合計画 評価項目	年間400回以上	406回	としょかん友の会などの活動回数	409	としょかん友の会などの活動回数	3	町民ボランティアとの協働(団体活動回数)	年間400回以上	206	としょかん友の会などの活動回数	〃	としょかん友の会(構成団体:8団体)と協働し、共に各種行事等を企画運営している。 古くから図書館と主に歩んでおり、図書館運営になくてはならないボランティア組織となっている。 継続して学校、保育園、グループホームなど高齢者施設、仲よしクラブなどでの読み聞かせ活動を行い、子どもから高齢者までの読書推進への協力を頂いた他、夏・冬休みなど行事他、多くの活動に協力いただいている。	活動される方の固定化が課題となってきたところであるが、多様な事業の企画運営を目指して支え合いながら、としょかん友の会との協働を進めていく事が必要。
	町民ボランティアとの協働(サポーター活動)	○	○		毎年200人日以上の参加	11人/31日	図書館サポーター活動 ・書架整理、イベントサポート	12人/35日	図書館サポーター活動 ・書架整理、イベントサポート	4	町民ボランティアとの協働(サポーター活動)	毎年50人日以上の参加	8人/11日	図書館サポーター活動 ・書架整理、イベントサポート	〃	平成30年度は図書館サポーターとして12名の方に登録いただき、資料整理やイベントサポートの他、図書館イベントを中心に協力頂き図書館運営を支援頂いた。 令和元年度は8名の方が登録を継続され、イベントへの協力など中心に支援を頂いている。	各種広報やイベント等での図書館からのお知らせ情報を活用し、サポーターの活動状況などを紹介しながら、気軽に参加してもらえるよう周知に努め、ボランティアの増加と育成を行い、サポート体制を築いていく事が必要。
	交流の場の提供(町民サークル等の利用件数)	○	○		年間10件以上	12件	三浦綾子読書会(2回) 以久科保育所 朝日小学校 和活同好会 交通安全委員会 知床ウトロ学校 斜里小学校 木育ねっと(2回) 水泳スポーツ少年団 赤いオーロラの街で実行委員会	15件	しゃり木育ねっと 児童館サポートクラブ小さな森 知床ウトロ学校(2回) 斜里小学校 斜里中学校(2回) 朝日小学校(2回) 児童館 三浦綾子読書会(2回) 和を楽しむ会 斜里小学校6年生PTA 知床財団	5	交流の場の提供(町民サークル等の利用件数)	年間10件以上	4件	しゃり木育ねっと 斜里中学校 三浦綾子読書会 北海道環境財団	〃	平成30年度は、講演会や各種会議、学校授業、児童館閉館中の利用等15件の利用があった。 令和元年度は、講演会やサークル活動、学校の調べ学習等5件の利用となっている。今後、学校利用の他、各種団体等のイベント開催なども予定されている。	図書館に親しみ、身近に感じてもらえるような、会議室の利用など、図書館内で実施されている「交流の場」の活動の具体的な紹介に努めていく事が必要。また、図書館の利用のきっかけとして、会議室を利用できることの周知も必要。

斜里町立図書館運営推進計画(平成31年度～令和5年度)に対する事業評価(令和元年度) 集約後

総合計画 単位施策	項目	評価時期		備考	第1次計画 計画期間 目標・評価	H29年度末		H30年度末		NO	項目	第2次計画 計画期間 目標・評価	R1年度進行状況(R1.9末)		今後の取り組み (R1年度)	点検・評価	課題・意見
		毎年	計画 期間末			数値等	内容	数値等	内容				数値等	内容			
		情報拠点と しての体制 整備	図書の充実 (分野別蔵書 数)				○		総蔵書数約11 万冊 (分野別蔵書数 点検)				104,444冊	資料収集計画に基づき計画的に 資料整備されている。			
情報システム (インターネット 予約を可能 にする)	○		○		年間400回以上	1,313冊	館内カウンター等受付 1,281冊 返却待ち 445冊 新規購入 419冊 他館借受 349冊 発注装備 68冊 インターネット予約 24冊 館内OPAC 8冊	1,435冊	館内カウンター等受付 1,382冊 返却待ち 511冊 新規購入 358冊 他館借受 424冊 発注装備 89冊 インターネット予約 42冊 館内OPAC 11冊	7	図書予約総冊 数	年間1,300冊以 上	599冊	館内カウンター等受付 599冊 返却待ち 217冊 新規購入 129冊 他館借受 198冊 発注装備 27冊 インターネット予約 25冊 館内OPAC 4冊	〃	平成30年度のインターネット等予約は 53冊となった。また、カウンター等を含 めた予約総数は1,435冊となり、内訳の 変動はあるが全体的に漸増している。 令和元年9月末では、インターネット等 予約件数が25冊と前年同期と同程度で 推移している。	新館となり予約総数も増え図書館での 本の予約は定着してきている。インター ネット予約サービスは一部の利用者の 利用となっていることから、利用方法や サービス内容、利便性など利用周知を 継続して行っていく必要がある。
レファレンス対 応件数	○		○		年間100件以上	124件	うち斜里関係 20件 うち事項調査 46件 うち所蔵調査 58件	95件	うち斜里関係 24件 うち事項調査 27件 うち所蔵調査 44件	8	レファレンス対 応件数	年間120件以上	51件	うち斜里関係 4件 うち事項調査 8件 うち所蔵調査 39件	〃	年度ごとに増減がある状況であり、30 年度は95件のレファレンスを行った。 令和元年度は9月末現在で51件のレ ファレンス対応と前年同期と同程度の利 用状況となっている。年度ごとに利用者 数の増減はあるが、各利用者の調べも の相談に対しては、何を求めている のかをしっかりと受け止めながら、丁寧 さと素早さのバランスを取りながら确实 に対応するよう努めている。	利用者の調べものは多種多様である ことから、定期的な職員研修と過去のレ ファレンス記録等を参考に資料等の充 実に努め、主な相談内容等の紹介を行 い、レファレンスサービスを周知、調べも ののデータベースや斜里関係の資料 をアーカイブとして残していく事も必要。

斜里町立図書館運営推進計画(平成31年度～令和5年度)に対する事業評価(令和元年度) 集約後

総合計画 単位施策	項目	評価時期		備考	第1次計画 計画期間 目標・評価	H29年度末		H30年度末		NO	項目	第2次計画 計画期間 目標・評価	R1年度進行状況(R1.9末)		今後の取り組み (R1年度)	点検・評価	課題・意見
		毎年	計画 期間末			数値等	内容	数値等	内容				数値等	内容			
	読書を広める 活動の充実 (図書紹介展 示)	○	○		小学生・中高生 向け展示、大人 向け展示、特別 展示、トレンド コーナー展示 などの回数と内 容を点検	147回	①小・中・高生向けオスス本、働く大 人サポート課、スポットライト 48回 ②トレンド 87回 ③「子ども読書週間_科学道100冊 ジュニア展示」「教科書展示」「夏休 み読書を楽しもう！」「姉妹町竹富 町盟約45周年・友好都市弘前市 盟約35周年記念展示」「北海道命 名150周年記念・松浦武四郎特別 展示」特別展「絵本が原画のカレ ンダー展」「新春！福袋」「しかけ絵 本展示」他特別展示3回	132回	①小・中・高生向けオスス本、働く大 人サポート課、スポットライト 24回 ②トレンド 36回 ③「子ども読書週間_エコ活動本展 示」「教科書展示」「日本ハムファイ ターズ特集展示」「夏休み読書を楽し もう！」「朝日小学校6年生POP展 示」 5回	9	読書を広める 活動の充実 (図書紹介展 示)	小学生・中高 生、大人向け図 書紹介展示な どの回数と内容 を点検	65回	継続実施	平成30年度は、継続して小学生から 高校生向けのおすすめ本の展示や大 人向けの展示など毎月テーマ別を実施 した。また、日々の話題を紹介する展 示コーナーや行事等関連した特別展 示などを行った。 令和元年度も引き続き、小学生から大 人向けの毎月のテーマ展示や、日々 の話題を紹介する展示、行事等関連 した特別展示など実施している。 毎月のテーマ展示等は通常の書架の 配架に比べ、より多く利用されること からテーマ内容等工夫して実施していく。	毎月のテーマ展示等の企画展示は継 続して実施し、利用者ニーズや地域 の話題に応じたテーマ、図書資料等 の展示方法の充実に努めていく事 が必要。	
効果的な読 書活動の推 進	読書を広める 活動の充実 (地域文庫等 の充実)	○	○		社会教育施 設、その他の公 共施設などへ の配本や連携 事業の記載と 点検	配本 施設等13ヶ所 学校 3ヶ所 (27学級) 高校 1ヶ所	配本 施設等25ヶ所 学校 3ヶ所 (28学級) 中学 1ヶ所 高校 1ヶ所 保育所 4ヶ 所	配本 ウトロ支所、ゆめホール知床、博物館 ウトロ、あおばの家、特養、たんぼ ぼ、えみある、グループホームと もに中斜里・青葉、グループホーム はな、デイサービスセンターひま わり・さくらヨミカタリ、自然セン ター、双葉保育園、はまなす保 育園、大谷幼稚園、子育て支 援センター、ケロケロクラブ、各 保育所(ウトロ、中斜里、以久科、 朱円)小学校及び知床ウトロ学校 の各学級斜里中学校、斜里高校	10	読書を広める 活動の充実 (地域文庫の 充実)	社会教育施 設、その他の公 共施設などへ の配本	配本 施設等24ヶ所 学校 3ヶ所 (28学級) 中学 1ヶ所 高校 1ヶ所 保育所 4ヶ 所	〃	自然センターがリニューアルにより、配 本は冬期間のみとなったが、他施設等 では定期的に配本を継続実施し、地 域文庫図書の充実に努めている。	読書活動の充実のため、定期的な配 本の継続及び配本施設等との利用確 認などの連絡調整を行い進めていく 事が必要。また、ウトロ漁村セン ターの配本所について、広く周知し ていく必要がある。		
	読書を広める 活動の充実 (講座・イベ ント)	○	○		実施件数と内 容の記載と点 検	連携事業 2件	①和活同好会と連携し、怖いお話 の朗読会開催 ②子ども芸術フェスティバル・ゆめ ホール知床との連携事業実施 開催日:2/13～18 テーマ:ゆめ do場～和の芸術文化にふれよう～	連携事業 1件	①しゃりっころんど(青少年事業) 大型紙芝居等のお話会開催 気のいいアヒル、しゃぼん玉	11	読書を広める 活動の充実 (連携事業の 記載と点検)	社会教育施 設、その他機 関との連携事 業の記載と点 検	連携事業 1件	①子ども芸術フェスティバル・ゆめ ホール知床との連携事業実施	〃	30年度は子ども芸術フェスティバル が中止となったため実施は1件であ った。 令和元年度はゆめホール知床と連 携した事業を実施しており、今後 しゃりっころんどを予定している。 各実行委員会等へ参画し、イベ ント実施や関連書籍の展示等、本 を広める活動に努めている。	社会教育施設、個別事業他、他 の様々な組織・団体との連携を 図り活動の幅を広げ、本の紹介 活動など進めていく事が必要。
	読書を広める 活動の充実 (講座・イベ ント)	○	○		実施件数と内 容の記載と点 検	15件	としよかんまつり、古本市、子 ども読書週間イベント 図書資料整理サポート(2回) 人形劇、絵本と音楽の公演、 朗読会、自治会敬老会お話し 会 北海道図書館大会、朝日小「つ むぎ子屋」、絵本セラピー体験 会、絵本作家等公演会(2回)、 図書館講座(手作りおもちゃ講 座)	15件	子ども読書週間イベント、古本市、 防災講演会、絵本と音楽の公演、 としよかんまつり、朗読会、 健康まつり、としよかんフェス タインウトロ、絵本作家講演会 (2回)、図書資料整理サポート (3回)他、図書館講座2回	12	読書を広める 活動の充実 (講座・イベ ント)	実施件数と内 容の記載と点 検	4件	としよかんまつり、古本市、子 ども読書週間イベント 落語家独演会	絵本作家等公演会 ビブリオカフェ 秋の古本市inウトロ	平成30年度は、例年実施している「 としよかんまつり」「古本市」「 絵本作家等の公演会」の他、子 ども読書週間でのイベント、大 人向けの朗読会、防災講演会 や、大人向けの絵本セラピー体 験会など15回開催した。 令和元年度も継続して、昨年同 様のイベント等の実施を予定し ており、ウトロ地区での古本市 開催を予定している。 図書館講座や作家等の公演会を とおして、本の魅力や図書への 関心へつながつている。	図書館に親しみ、より身近に感 じてもらい本の魅力を伝えてい く活動を継続し、家族を含めて 読書の効果などを伝え習慣化 していく活動が必要。

斜里町立図書館運営推進計画(平成31年度～令和5年度)に対する事業評価(令和元年度) 集約後

総合計画 単位施策	項目	評価時期		備考	第1次計画 計画期間 目標・評価	H29年度末		H30年度末		NO	項目	第2次計画 計画期間 目標・評価	R1年度進行状況(R1.9末)		今後の取り組み (R1年度)	点検・評価	課題・意見
		毎年	計画 期間末			数値等	内容	数値等	内容				数値等	内容			
効果的な読書活動の推進	読書を広める活動の充実(高齢者・障がい者サービス)	○	○		高齢者、障がい者への宅配配本、年間10件以上	4件	配本 27回 冊数 116冊	3件	配本 40回 冊数 202冊	13	読書を広める活動の充実(高齢者・障がい者サービス)	高齢者、障がい者への宅配配本、年間10件以上	1件	配本 12回 冊数 60冊	継続実施	30年度は、3名の方に図書希望内容を確認し実施した。 令和元年度も継続して3名の方に対し配本を行い、高齢者等の読書活動の支援に努めている。	継続して制度の周知に努めていく事が必要。
	子ども読書活動推進(図書館に親しむ子どもの育成)	○	○		子ども向け講座、イベント、ブックスタートの実施件数と内容の記載・点検	講座11回 イベント97回 75人へ配布 親子15分 26回 親子えほん 69回	夏休み・冬休み図書館講座 各1回 夏休み・冬休み図書館イベント 各1回 おはなしの花園 45回 おはなしの花ばたけ 11回 朝日小全校おはなし会 1回 保育園(所)お楽しみ巡回 6回 仲よしクラブお楽しみ巡回 8回 大谷幼稚園・支援センターお楽しみ巡回 各1回 子ども司書講座 9回 子ども司書活動 9回 子どもDVD上映会 12回 親子15分 26回(20人) 親子えほん 69回(46人) ブックスタート 75人に配布	講座11回 イベント104回 82人へ配布 親子15分 23回 親子えほん 87回	夏休み・冬休み図書館講座 各1回 夏休み図書館イベント 2回 冬休み図書館イベント 1回 おはなしの花園 45回 おはなしの花ばたけ 9回 朝日小全校おはなし会 1回 保育園(所)お楽しみ巡回 6回 仲よしクラブ等お楽しみ巡回 16回 子ども司書講座 9回 子ども司書活動 12回 子どもDVD上映会 12回 親子15分 23回(15人) 親子えほん 87回(63人) ブックスタート 82人に配布	14	子ども読書活動推進(図書館に親しむ子どもの育成)	子ども向け講座、イベント、ブックスタートの実施件数と内容の記載・点検	講座9回 イベント56回 ブックスタート 75人へ配布	夏休み図書館講座 1回 夏休み図書館イベント 2回 おはなしの花園 23回 おはなしの花ばたけ 5回 朝日小全校おはなし会 1回 保育園(所)お楽しみ巡回 6回 仲よしクラブ等お楽しみ巡回 8回 子ども司書講座 8回 子ども司書活動 5回 ブックスタート 85人中/99人に配布	冬休み図書館講座 冬休み図書館イベント おはなしの花園 おはなしの花ばたけ 子育て支援センター・大谷幼稚園 お楽しみ巡回 子ども司書講座 子ども司書活動	平成30年度は、継続して、としょかん友の会の協力を得て前年度同様のイベント等の実施の他、仲よしクラブや大谷幼稚園への巡回お楽しみ会などを開催した。 令和元年度も継続して、としょかん友の会等の協力を得て同様なイベント等の実施を進めており、定例のおはなし会や夏・冬休みの工作講座、特別お話し会、子ども司書講座・活動等は定期的に開催され、子どもたちが図書館に親しむ機会となっている。	ボランティアとの連携のもと、子どもたちが楽しめるイベントや子ども司書講座、それに続く子ども司書活動など、継続して定着されていくことが必要であり、子どもたちが図書館や本に親しむための企画を検討していくこと。 中高生への読書活動への対応や家庭での本を読む環境づくりも大切となる。
	-	○	○	-	-	上記内訳に記載	上記内訳に記載	上記内訳に記載	上記内訳に記載	15	子ども読書活動推進(親子えほん・親子15分読書セット貸出し状況)	親子絵本セット貸出し利用者50人以上 親子15分読書セットの貸出し利用者数20人以上	親子えほん 50人 親子15分 20人	親子えほん 37回(30人) 親子15分 7回(5人)	継続実施	平成29年度から幼児～小学生向けの親子で楽しめるセット本の貸出事業を開始した。 また、セット本の内容変更・利用周知を行い、利用促進につながるよう見直しを進めているが、読書活動へつながる取り組みに努めている。	セット本の貸出利用動向を確認しながら本の内容についても点検し、利用促進を工夫しながら行っていくことが必要。
	絵本クラブへの加入率	○	○	総合計画 評価項目	対象児(1～5才)の22%加入	19%	84人(64世帯)/432人	22%	92人(75世帯)/432人	16	絵本クラブへの加入率	対象児(1～5才)の22%加入	19%	80人(65世帯)/415人	継続実施	各種広報活動を実施しながら進めており、加入割合は20%前後を推移している。一部ではあるが口コミで広がっている様子も見られた。また、親子えほんセットの併用と合わせて、未就学児の本と触れ合う機会の提供に努めている。	小さい頃(未就学児)からの本に触れ合う環境づくりを行っていく事が必要であり、親子えほんセットと合わせて、継続して実施していく必要がある。
	子ども読書活動推進(読書環境整備)		○		すべての保育所・幼稚園等児童施設へ配本されていること	14ヶ所	双葉・はまなす保育園 中斜里・朱田・以久科・ウトロ保育所 大谷幼稚園 児童館、朝日・斜里・ウトロなかよし ケロケロクラブ・ヨミカタリ 子育て支援センター	15ヶ所	双葉・はまなす保育園 中斜里・朱田・以久科・ウトロ保育所 大谷幼稚園 児童館、朝日・斜里・ウトロなかよし ウトロわくわく・ヨミカタリ 子育て支援センター 子ども通園センター	17	子ども読書活動推進(読書環境整備)	すべての保育所・幼稚園等児童施設へ配本されていること	15ヶ所	双葉・はまなす保育園 中斜里・朱田・以久科・ウトロ保育所 大谷幼稚園 児童館、朝日・斜里・ウトロなかよし ウトロわくわく・ヨミカタリ 子育て支援センター 子ども通園センター	継続実施	H30年度から新たに子ども通園センターへの配本を開始し、現在想定できるほとんどの児童施設へ定期的に配本を実施している。引き続き児童の読書環境づくりに努める。	小さい頃(未就学児)から本に触れ合う環境づくりとして、児童施設への配本を継続して実施していく必要がある。
子ども読書活動推進(読書推進協力者の育成)	○	○		読み聞かせなどの実施者の育成活動の件数と内容の記載・点検	4回	オホーツク支部高文連ボランティア 研究大会、デリバリートーク(読み聞かせ2回)、図書館講座(読み聞かせ講座)	10回	図書館講座兼サポーター研修会(7回) 出前講座デリバリートーク 斜里高校(読み聞かせの基礎)2回 図書館ワークショップ	18	子ども読書活動推進(ボランティアの育成)	図書館ボランティアの育成活動の件数と内容の記載・点検	0回	-	デリバリートーク (読み聞かせ講座)	30年度は、出前講座デリバリートークでの斜里高校生向けの読み聞かせ講座を実施した。令和元年度は昨年同様に斜里高校生向けにデリバリートークを実施予定している。	人材育成は時間を要することから、ボランティアの皆さんと協力しながら、読書の楽しさを伝える協力者の育成に努めていくことが必要。	

斜里町立図書館運営推進計画(平成31年度～令和5年度)に対する事業評価(令和元年度) 集約後

総合計画 単位施策	項目	評価時期		備考	第1次計画 計画期間 目標・評価	H29年度末		H30年度末		NO	項目	第2次計画 計画期間 目標・評価	R1年度進行状況(R1.9末)		今後の取り組み (R1年度)	点検・評価	課題・意見
		毎年	計画 期間末			数値等	内容	数値等	内容				数値等	内容			
学校支援の 強化	学校図書室の 活用支援 (巡回司書の 配置)		○		巡回司書1名以 上の配置	1名	巡回司書	1名	巡回司書	19	学校図書室の 活用支援 (巡回司書の 配置)	巡回司書1名以 上の配置	1名	巡回司書	継続実施	学校巡回司書1名を配置し、学校との 連携、学校の図書館活動・読書活動の 支援に努めた。	子どもたちが多くの時間を過ごす学校 での図書館活動・読書活動を支援する ため、継続して配置していく必要があ る。
	学校図書室の 活用支援 (学校図書支 援機能の配 置・リクエスト 対応)	○	○	総合計画 評価項目	学校からのリク エストによる貸 出(年間1,200 冊以上)	1,558冊	学校からのリクエスト・テーマ別貸出 リクエスト 893冊 テーマ別 665冊	1,049冊	学校からのリクエスト・テーマ別貸出 リクエスト 663冊 テーマ別386冊	20	学校図書室の 活用支援 (授業用テー マ別・生徒か らのリクエスト 対応)	学校からのテー マ別リクエストに よる貸出(年間 1,200冊以上)	652冊	学校からのリクエスト・テーマ別貸出 リクエスト 355冊 テーマ別 297冊	〃	平成30年度は、町内3校の小学校・義 務教育学校への「リクエスト・テーマ別貸 出」として1,049冊の利用があり、前年度 と比較し△509冊(32.7%)の減となった。 令和元年度9月末現在では、町内3校 の小学校・義務教育学校で652冊の利 用があり、前年同期より204冊(45.5%)の 増となっている。 リクエスト・テーマ別貸出は、学校支援セ ンター会議や巡回司書の配置などにより、 概ね順調に利用されており、テーマ別貸 出については、より利用しやすいよう過 去の貸出リストを学校に配布し利用周知 を図りながら進めている。また、学校の 図書購入支援や企画展示など巡回司 書との連携により進められている。	リクエスト・テーマ別貸出は順調に推 移していることから、今後とも継続して実 施していくことが必要。 また、学校巡回司書活動の質的な向 上を図り、子どもたちに魅力的な学校図 書室となるよう、学校支援を検討してい く必要がある。
	-	○	○		-	47回	斜里小11回 朝日小7回 ウトロ学校12回 斜里中11回	47回	斜里小16回 朝日小12回 ウトロ学校11回 斜里中8回	21	学校読書活動 の支援 (巡回司書の 読書を広める 活動)	巡回司書の図 書紹介展示支 援状況の件数 と内容の記載と 点検	21回	斜里小3回 朝日小6回 ウトロ学校8回 斜里中4回	〃	子どもたちが一番身近な学校図書に興 味や関心を持ってもらうため定期的に 実施している。 支援に対する学校の評価も高く、時節 的な展示の他は、できるだけ題目が被 らないよう工夫しながら進めている。	学校図書室の本に興味を持ち手に取っ てもらえるか、大事な導入のひとつで あり、今後も定期的に継続して創意工夫 しながら支援していく必要がある。
	-	○	○		-	4回	①漢字イベント(漢字検定に合わせ 開催)4校	6回	①子ども読書の日イベント(読み開 かせ)朝日小・ウトロ ②漢字イベント(漢字検定に合わせ 開催)4校	22	学校読書活動 の支援 (巡回司書の 読書を広める 活動)	巡回司書の行 事等の開催支 援状況の件数 と内容の記載と 点検	2回	①子ども読書の日イベント(読み開 かせ)朝日小・ウトロ	〃	巡回司書の行事等については、各学校 に希望を取りながら実施している状況で ある。 令和元年度はH30年度から始めた子ど も読書の日イベント他、漢字検定に合わ せた漢字イベントも実施予定である。	学校での学びの他、本や読書に関心 を持ってもらうため、図書館ではなく学校 図書室ならではの行事を継続して実施 支援していく必要がある。
	-	○	○		-	11回	斜里小2回 朝日小4回 ウトロ学校(前期)4回 (後期)1回	8回	斜里小3回 朝日小3回 ウトロ学校2回	23	学校読書活動 の支援 (巡回司書の 読書を広める 活動)	巡回司書の授 業支援状況の 件数と内容の 記載と点検	4回	斜里小2回 朝日小2回	〃	主な教科として国語・生活の時間に単 元として取り入れられている。 低学年から高学年まで各学校のアイ ディアを実現できるよう支援が進められ ている。	限られた時間割の中で本や読書に関連 付けられた単元をより興味深く、魅力あ るものにするため、今後も積極的に支援 していく必要がある。
	学校読書活動 の支援 (巡回司書の 読書を広める 活動)	○	○		読書を全くしな い児童生徒の 減少 小学生 20%以 下 中学生 35%以 下	小学生25.0% 中学生49.3%	1日当たりの読書時間 小学生 全くしない 25.0% 中学生 全くしない 49.3%	-	1日当たりの読書時間 小学生 全くしない 27.7% 中学生 全くしない 35.3%	24	学校読書活動 の支援 (巡回司書の 読書を広める 活動)	読書を全くしな い児童生徒の 減少 小学生 20%以 下 中学生 35%以 下	-	1日当たりの読書時間 小学生 全くしない 26.7% 中学生 全くしない 37.1%	〃	令和元年度では、全く読書をしない生 徒の割合が小学生では微減、中学生で は微増しているが、国や道平均と比べ ても依然として高い数値となっており、さ らに読書活動へつながる取り組みを進 めていく状況にある。学校内での朝読 書の取組や親子15分読書タイムの実施 など、学校及び家庭への取組を継続し て支援していく。	小学生向けには図書館の利用の仕方 を学び、図書館利用のきっかけを学校 と連携してつくる必要がある。 また、学年が上がるのに伴い読書離 れが進む傾向にあることから、中学生ま での読書習慣の形成を図り、発達段階 ごとの取組への支援や、情報リテラー 教育など、小さい頃から本に親しむ習 慣化を図っていく必要がある。
	学校読書活動 の支援 (図書の有効 活用支援)	○	○		すべての小中 学校で学校図 書の貸し出しが 行われる状態 実現。貸出冊 数倍以上	小学生2.6 冊 中学生1.4 冊 4,743冊 1,957人	斜里小 2,684冊/790人 朝日小 994冊/499人 ウトロ前 761冊/447人 ウトロ後 60冊/52人 斜里中 244冊/169人	小学生2.4冊 中学生1.3冊 6,154冊 2,808人	斜里小 3,920冊/1,541人 朝日小 769冊/408人 ウトロ前 1,170冊/642人 ウトロ後 95冊/75人 斜里中 200冊/142人	25	学校読書活動 の支援 (学校図書 の活動支援)	小中学校の学 校図書館の1人 あたり貸出状況 小学生2.5冊/ 年 中学生1.4冊/ 年	小学生1.3 冊 中学生0.7 冊 3,307冊 1,428人	斜里小 1,876冊/654人 朝日小 249冊/425人 ウトロ前 418冊/843人 ウトロ後 48冊/78人 斜里中 59冊/85人	〃	30年度の貸出状況は、小学生・中 学生共に前年度比△0.1冊であった。 令和元年度についてはシステム更新も 行う予定であり、より快適な環境づくりを 進める。	学校図書利用者の検証を行いなが ら、たくさん子どもたちが学校図書 を利用されるよう活動を支援していく必要 がある。
学校読書活動 の支援 (読書活動情 報交換)	○	○		学校図書館連 絡会議の実施 回数と内容の 記載・点検	2回	《学校図書館支援センター会議》 6/27 学校巡回司書の業務、巡回 日程、各学校での取組事項、要望 事項など協議 2/9 学校巡回業務の点検・課題整 理、次年度に向けて取組内容と巡 回日程の確認、テーマ別貸出リストの 配布及び巡回時間の変更につい て協議 《6年生向けブックトーク開催》 12/1 読書の動機付け、読書の楽 しさなど、読書教育活動として「み んながみんなすてきでしょ！」を テーマにブックトークを開催。	2回	《学校図書館支援センター会議》 5/31 学校巡回司書の業務、巡回 日程、各学校での取組事項、要望 事項など協議 2/14 学校巡回業務の点検・課題 整理、次年度に向けて取組内容の 概要等について協議 《6年生向けブックトーク開催》 1/25 読書の動機付け、読書の楽 しさなど、読書教育活動として「ど んなおとなになろうかな？ ～○○○大丈夫～ をテーマにブックトークを開催。	26	学校読書活動 の支援 (読書活動情 報交換)	学校図書館支 援センター会 議、研修会等 の実施回数と 内容の記載・点 検	1回	《学校図書館支援センター会議》 5/31 学校巡回司書の業務、巡回 日程、学校への読書活動支援(授 業テーマ別・リクエスト貸出、授業補助) 及び実績リスト配布、各学校での主 な取り組み事項などの情報共有。	〃	30年度は、学校図書館支援センター会 議2回を開催し、各学校での主な取組 み事項及び要望事項など協議、6年生 を対象としたブックトークを開催し、子 どもたちが読書へ誘導する活動を実施し た。 令和元年度も、支援センター会議の開 催(2月)や6年生向けのブックトークの 開催(2月)を予定し、各学校・子ども たちの読書活動の取組支援を実施してい く。	学校と図書館との連携協力・情報交 換をより進めるとともに状況について認 識を共有し、本と読書が好き子どもを 育てる環境を育む。また、学校巡回司 書活動の質的な向上を図り、学校での 読書活動の支援につなげていくことが 必要。	

※平成26年度から平成30年度までは第1次計画であり、令和元年度(平成31年度)から第2次計画であることから評価項目、計画期間目標・評価が異なっている項目があるが、便宜上、直近年度で統計できる数値で比較評価している。